

第3学年*組		国語科学習指導案	
平成24年 *月 *日(*) 第*校時 3年*組教室		指導者 服部 友樹	
育成する国語の能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえること。		
単元名	新聞記事の読み比べ		
単元目標	<p>○ 新聞記事を読み、書き手の意図を探ろうとする。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○ 相互の段落の関係に着目して書き手の意図をとらえ、内容や表現の仕方について評価できる。 (読む能力) (「C読むこと」の(1)のエ)</p> <p>○ 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解することができる。 (知識・理解) (〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の(1)のイ(イ))</p>		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
	・同一テーマの新聞記事を読み、書き手の意図を探ろうとしている。	・段落に着目して書き手の意図をとらえ、根拠に基づいて評価している。	・文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解している。
取り上げる言語活動	様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
題材(教材)	朝日新聞 「耕論」欄 (2012年9月19日発行)		
単元(教材)について	<p>(1) 教材観: 新聞記事の中に、同一テーマについて数名の識者が独自の観点から提言している欄がある。いずれも端的で要旨をつかみやすいものが多く、生徒たちが読み比べを行い書き手の意図をとらえたり、内容や表現の仕方について評価したりするには格好の教材である。同じような結論に見えてもその論理の辿る道は異なり、その点をふまえた読み比べをさせることで、段落に着目する読みを定着させたい。</p> <p>(2) 生徒観: 年度当初よりコラム欄の書き写しや要約に取り組ませているが、その際必ず、各段落からキーセンテンスを抽出する作業をさせている。本単元ではこれを踏まえ、キーセンテンスをもとに論理展開をたしかめた上で書き手の意図をとらえ、それを根拠を基に評価していくという新たな段階に入っていく。</p> <p>(3) 指導観: 読み比べをするのにまず必要なのが論述内容的確な理解である。その点に関しては、4種類のワークシートを用いて小さく段階を踏みながら導き、それぞれの書き手の意図とその違いを意識させる。</p>		
指導計画	主な学習活動	主な評価	
(学習計画)	<p>1 3種類の新聞記事を通読し、各段落のキーセンテンス(キーワード)を見付けて傍線を引き、本文の論述内容を捉える。</p> <p>2 それぞれの新聞記事を読み比べ、各自が最も優れていると思う記事を取り上げ、その特色と優れていると判断する根拠を紹介文としてまとめる。</p> <p>3 まとめた文章をペアになって紹介し合い、他人の着眼点に触れた感想を書く。</p>	<p>・各新聞記事を読み、書き手の意図を探ろうとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>・各段落のうち、「書き手の意図」に着目して傍線を引きながら本文を読み進めている。 (読む能力)</p> <p>・本文の構造を適切にとらえ、根拠をあげて紹介文をまとめている。 (読む能力)</p> <p>・相手と自分の書き手の意図の違いを意識し、感想を書いている。 (読む能力)</p> <p>・適切な語句で感想を書いている。 (知識・理解)</p>	

本 時 案 (第 2 時)

<p>本時の目標</p>	<p>○書き手の意図の違いに注目し、内容や表現の仕方について根拠を挙げて評価できる。 (読む能力) (「C読むこと」の(1)のエ)</p> <p>○文の組立てを理解し、適切な語句で紹介文を書くことができる。 (知識・理解) (〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の(1)のイ(イ))</p>	
<p>学習活動</p>	<p>指導上の配慮事項など</p>	<p>評価・方法など</p>
<p>1 前時までの活動を振り返り、本時の見通しを持つ。</p>	<p>3人の識者の意図の違いに注目し、クラスで紹介し合おう。</p>	
<p>2 前時までにまとめたワークシート②の「文章の構造」欄を全員で確認し、各提言者の段落ごとの趣意を適切に把握する。</p>	<p>○生徒の理解度を発問で確かめながら進めるようにする。</p>	
<p>3 本文を読み比べ、もっとも優れた提言者の紹介文ワークシート②にまとめる。</p>	<p>○結論だけにとらわれるのではなく、言い回しや展開の仕方、例の出し方なども考慮に入れ、それぞれの特色を取り上げて評価するように指導する。</p> <p>○設問形式により、どのようなことを考えればよいか具体化して示す。</p> <p>○3人の書き手の意図に着目して読むことができるように、繰り返される言葉や言い換えられている表現に着目するように、机間指導をしながら助言する。</p>	<p>○書き手の特徴を本文を根拠として取り上げて評価している。 (読む能力) 〈ワークシート②〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>－努力を要する生徒への手立て－〈まずは2名を比較し、「愛国」のとらえかたの似た部分や異なる部分を挙げさせるところから始めさせるよう助言する。〉</p> </div> <p>○主語、述語の関係や、表記の仕方に注意して書いている。 (知識・理解) 〈ワークシート②〉</p>
<p>4 ペアになってまとめた文を紹介しあい、他者の見解との違いや同様の点などについて抱いた感想をワークシート②に書く。</p>	<p>○紹介し合うことで他者がどのように本文を評価したか、その着眼点はどこかに注目するように助言する。</p> <p>○数ペアを指名して協議内容や感想を述べさせ、クラス全体で思索を深めるようにする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>－努力を要する生徒への手立て－〈机間指導をして進捗状況を確認し、必要に応じて辞書を引くように助言する。〉</p> </div>